

(個人)

(報告 : 田 中)

山 (山域・ルート) 茂 倉 岳 (茂倉新道往復)

【日時】 23年 8月17日 (水) (泊 1日)

【メンバー】

田 中 (計1名)

【行動記録】

...自宅2時10分発—東松山 I. C—湯沢 I. C—土樽—茂倉新道登山口 (4:52着—5:14発)—矢場ノ頭 (7:51)—避難小屋 (9:27)—茂倉岳 (9:47)—避難小屋 (10:27)—矢場ノ頭 (11:25)—登山口 (13:13)

上り 4時間20分 下り 3時間

【装備・食料等】

...携帯電話、ヘッドランプ、雨具、コンパス、地図、救急薬、ツエルト水 (2.5リットル)、食事 (朝食、昼食)、行動食

【感想】

...広い駐車場に、他に車はなかったが、気持ちのよい青空の下出発した。しかし、いきなり急登が続き、濡れた粘土質の登山道は下山時の困難さが心配された。その後は、噂の桧の廊下が待っていて、矢場ノ頭まで思った以上に大変だった。同じ土樽から万太郎に登る吾策新道は、危険箇所があるものの、まだ歩きやすかったように思えた。山頂が近づいた頃、上から山ガールが一人下りてきた。昨日、肩の小屋に泊まりこのまま土樽に下るといふ。若い女性が単独で...。山も満足だと感じたのか、茂倉岳の山頂はすばらしい展望となった。西側は、鋸の歯のような山頂を持つ万太郎から笹に覆われた仙ノ倉、平漂に続く主稜線がきれいだ。その向こうに苗場山。北には、馬蹄形に連なる朝日岳、白毛門へ続く山々、大源太、巻機、越後三山、東は、日光白根を初めとする栃木の山が薄らと浮かんでいる。一ノ倉、谷川もすぐそばある。展望を楽しんだ後、非難小屋の裏にある水場 (あまり冷たくなかった) に寄って、来た道に戻った。

①茂倉岳 (標高1977.9m)

茂倉新道登山口 → 矢場ノ頭

→ 茂倉小屋 → 茂倉岳